

(様式1)

令和4年度 学校評価結果報告書(特別支援学校用)

(1) 学校教育目標	一人一人の可能性を最大限に伸ばし、明るく柔軟性があり、進んで学び、思いやりのある児童生徒を育む。
(2) 現状と課題	本校は、重度心身障害や精神疾患等を有する児童生徒が在籍しており、多様な実態を踏まえた教育課程を設定している。児童生徒一人一人の病氣や障害の理解と実態把握に基づいた教育計画を作成し、適切に対応するための教員の専門性向上に取り組んでいる。また、隣接病院を含む地域の医療機関等との連携が重要である。
(3) 重点目標	1 授業の充実
	2 健康で安全・安心な教育環境の充実
	3 病弱教育の専門性と指導力の向上
	4 センター的機能の充実と関係諸機関・地域等との連携
(4) 結果の公表	学校評価アンケートの結果と今後の取組について保護者に説明すると共に文書を配布した。また、学校評価結果を学校のホームページに掲載し、地域に発信する。

学校整理番号	特18
学 校 名	青森県立浪岡養護学校
対象障害種別	視覚・聴覚・知的・肢体・ 病弱
自己評価実施日	令和5年2月 3日(金)
学校関係者評価実施日	令和5年2月14日(火)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
【学校運営協議会委員】 地域交流センター館長、就労移行支援事業所長、隣接病院保護者会長、地域交流センター支配人、隣接病院長、障害者支援施設長、地域こども園長、PTA会長、PTA副会長

自 己 評 価					学校関係者評価	(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	授業の充実	①児童生徒の実態に応じた指導計画の作成と活用 ②教科指導における指導内容の精選と基礎基本の定着 ③個に応じた教材教具の工夫とICT・支援機器の有効活用	児童生徒の実態や感染症の流行状況に応じ、隣接病院と連携しながら学習環境を整えとともに、ICT・支援機器を活用して授業を展開できた。	A	特になし	・児童生徒の実態に応じた教材教具の工夫とICT・支援機器の有効活用を継続する。
2	健康で安全・安心な教育環境の充実	①児童生徒の体調管理や衛生管理の徹底 ②感染症への速やかな対応 ③医療的ケアの校内体制の整備と充実 ④災害時や緊急時の安全確保	児童生徒の体調管理を徹底しながら特に新型コロナウイルス感染症について、予防対策や発症時の速やかな対応ができた。 医療的ケアや災害時等の校内体制の整備を着実に進めた。	A	特になし	・児童生徒の体調管理や衛生管理については次年度も徹底する。 ・医療的ケアの校内体制の整備を今後も進める。 ・災害時や緊急時の安全確保のために、避難訓練等を計画的に実施し、改善する。
3	病弱教育の専門性と指導力の向上	①ICT・支援機器の実践的研修と効果的な活用の探究 ②授業力向上を目指した教員相互の学び合い ③児童生徒の進路実現に向けた積極的な進路指導の取組	ICT・支援機器の実践的研修や日常的な教員相互の学び合いの積み重ねが、評価項目1「授業の充実」に寄与している。 進路指導については関係機関との連携を図りながら産業現場等における実習を計画的に進めた。	A	特になし	・研修会、校内研究を計画的に実施し、授業の充実に生かす。 ・進路指導では、研修会や通信を通して児童生徒や保護者のニーズに応じた情報提供を行う。
4	センター的機能の充実と関係諸機関・地域等との連携	①教育相談や校外からの支援要請への専門的対応 ②隣接病院との連携強化 ③学校運営協議会の機能の充実と活用	随時の教育相談や定期の巡回相談等地域の要請に応じた支援を行うことができた。 感染症対策等、隣接病院との連携はさらに強化された。 学校運営協議会の活用は十分とは言えず、今後継続して取り組みたい。	B	学校運営協議会では、地域の人材や資源を活用した学校教育活動の可能性を熟議することができたが、実行に向けて今後より具体化する必要がある。	・保護者、医療機関、関係施設との連携や情報共有、丁寧な対応を行う。 ・学校運営協議会での熟議を重ね、地域との連携を生かした教育活動を検討する。
(11) 総括	児童生徒、保護者、教職員を対象とした学校評価アンケートの結果及び学校運営協議会からの意見等から、今年度の重点目標については、概ね達成できたものと判断する。学校評価アンケートの項目ごとの結果に着目すると、「学校間や地域社会との交流及び共同学習の推進」「進路情報や福祉サービスの情報提供」について今後さらなる取組が必要である。					